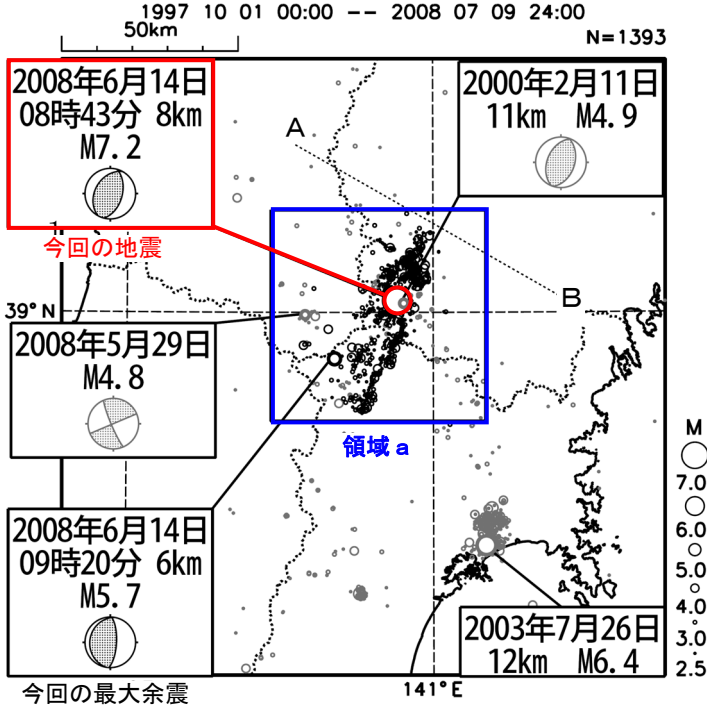
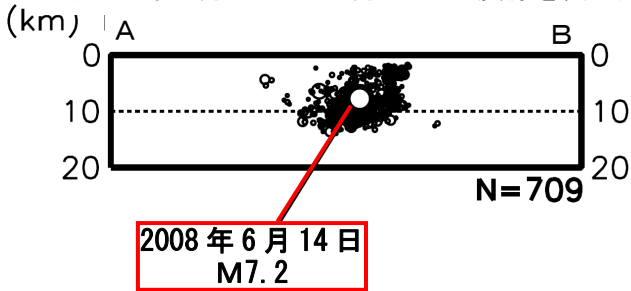


平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震

震央分布図 (1997 年 10 月以降、 $M \geq 2.5$ 、深さ 20km 以浅)



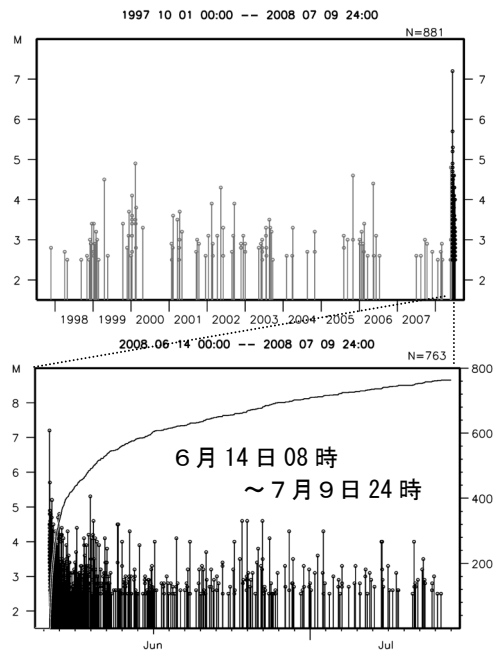
領域 a の断面図 (A-B 投影)
(2008 年 6 月 14 日 ~ 6 月 30 日の震源を表示)



2008 年 6 月 14 日 08 時 43 分に岩手県内陸南部の深さ 8 km で $M7.2$ (最大震度 6 強) の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。余震活動は減衰してきている。最大余震は 14 日 09 時 20 分の $M5.7$ (最大震度 5 弱) であった。

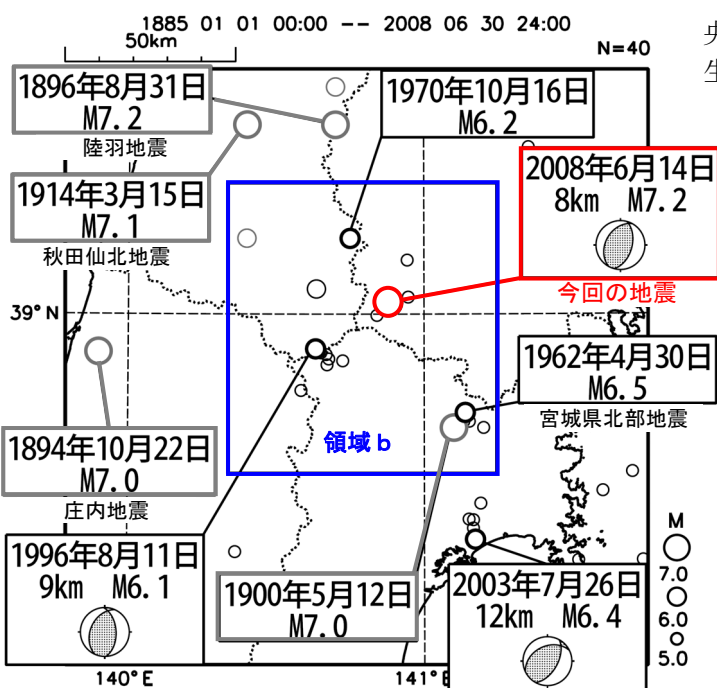
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では 2000 年 2 月 11 日に $M4.9$ (最大震度 3) の地震が発生しているのみで、 $M5$ を超える地震は発生していなかった。

領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図 ($M \geq 2.5$)



震央分布図 (1885 年以降、深さ 60km 以浅、 $M \geq 5.0$)

(1923 年 7 月以前の震源は宇津カタログであり、薄く表示)



1885 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 b) は $M6$ を超える地震が時々発生しており、1900 年 5 月 12 日には $M7.0$ の地震 (死者 13) が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図

